



## A

### 「森へ」を読んで

まるで時間が止まっているかのように、静まり返った森。そして、人をこぼみ続ける神秘的な森。

しかし、そんな私たちの森のイメージを変えてくれるのがこの作品です。

海、森、そして生き物の様子をいろいろな表現で語りかけてくれる筆者の星野道夫さん。この作品を読むと、まるで自分が星野さんになったかのように森の様子が目の前に広がってきます。そして、読む人の心に伝わってくるのです、星野さんからのメッセージがー。

さあみなさんの心にはどんなメッセージが届くでしょうか！

## B

### きっと聞かせる 森の様々な物語が！

深いミルク色の霧の中、作者の星野道夫さんはカヌーで進んでいます。ここは南アラスカの原生林の世界。

海では、シューツという音とともにザトウクジラが星野さんをかんげいするかのように現れます。

森ではコケやキノコ、たくさんの木々、そしてサケや熊などの生き物が、森の中の様々なつながりを星野さんに教えてくれます。

そして最後には、静かに横たわる倒木が、気の遠くなるような時間をかけてつくり上げてきた様々な物語を星野さんに語りかけてくるのでした。

